

## 9月5日：VN指数は上昇基調を維持（VN-Index +0.89%）

- 取引開始直後から不動産、銀行セクターが上昇し、指数は上昇して始まった。
- その後は、他のセクターにも買いが広がる展開となり、午前中は上昇トレンドを維持していた。
- 午後に入るとまちまちの展開となった。特に外国人投資家が不動産、金融サービスセクターを中心に売り越しに転じたことが相場の重しとなった。
- 一方買い方では、銀行と飲食料品セクターに買いが集まったことで、指数は上昇して取引を終えた。
- 366銘柄が上昇、141銘柄が下落、54銘柄は変わらずだった。
- 流動性は前営業日比で15%増加し、売買代金は24.4兆ドンだった。

## VN30指数も上昇（VN30 +0.82%）

- 大型株で構成されるVN30指数は25銘柄が上昇、4銘柄が下落、1銘柄が変わらずだった。
- MBB（+3.5%）、VNM（+3.0%）、VJC（+2.6%）などが大きく上昇し相場をけん引した。
- 一方、SSB（-2.1%）とBCM（-1.2%）などが下落した。

## 個別株・セクターの動き

- CNG（+6.95%）が大幅高。ベトナムでLNG取引の認可を得た最初の企業となったことが好感された。
- VJC（+2.6%）はハノイ〜ジャカルタ間の新路線就航を発表したのちに大きく上昇した。
- 外国人投資家は3,906億ドンを売り越した。VNMとTPBは買い越されたが、SSI、VIC、HPGなどの銘柄は大きく売られていた。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。